

公共交通の活性化に向けた重点的取組について

- 1 公共交通の活性化に向けた平成 28 年度の主な取組 P1
- 2 人口減少を見据えた公共交通のあり方検討について P2
- 3 大津湖南エリアにおける地域公共交通活性化について P4

1 公共交通の活性化に向けた平成 28 年度の主な取組

(1) 計画・検討関係

| | |
|---------------------------|-----------|
| ① 人口減少を見据えた公共交通のあり方検討事業 | 8,750 千円 |
| ② 大津・湖南地域公共交通網形成計画策定事業 | 20,000 千円 |
| ③ 大津・湖南地域新交通システム導入可能性検討事業 | 2,500 千円 |

(2) 鉄道関係

(ア) 輸送力・利便性・安全性向上

| | |
|---------------------------|------------|
| ① 近江鉄道安全輸送設備等整備費補助 | 31,445 千円 |
| ② 信楽高原鉄道線保安設備整備等補助 | 92,730 千円 |
| ③ 鉄道駅バリアフリー化補助 | 203,425 千円 |
| ④ 草津線複線化促進期成同盟会補助・負担金 | 2,640 千円 |
| ⑤ びわ湖京阪奈線（仮称）鉄道建設期成同盟会負担金 | 625 千円 |

(イ) 沿線活性化・利用促進

| | |
|--------------------------------|--------------|
| ① 「近江鉄道」沿線魅力再発見・創出事業 | 4,000 千円 |
| ② 草津線「忍者」を起爆剤とした公共交通利用促進・活性化事業 | 50,000 千円 |
| ③ 湖西線利便性向上対策事業 | 7,000 千円 |
| ④ 北びわこエリア地域交通活性化推進事業 | 5,000 千円 |
| ⑤ 琵琶湖環状線を活用した集客・交流創造事業 | 10,676 千円 |
| ⑥ 草津線複線化促進期成同盟会補助・負担金 | 2,640 千円【再掲】 |
| ⑦ びわ湖京阪奈線（仮称）鉄道建設期成同盟会負担金 | 625 千円【再掲】 |

(3) バス関係

(ア) 運行維持・確保

| | |
|------------------------|------------|
| ① 地域間幹線系統補助 | 35,626 千円 |
| ② コミュニティバス運行対策費補助 | 190,359 千円 |
| ③ 交通不便地デマンド交通運行費補助 | 3,674 千円 |
| ④ 地域団体デマンド交通運行モデル事業費補助 | 1,000 千円 |

(4) エコ交通の推進

| | |
|--------------|----------|
| ① エコ交通協働推進事業 | 500 千円 |
| ② エコ交通推進事業 | 5,340 千円 |

2 人口減少を見据えた公共交通のあり方検討

2030年頃の滋賀の目指すべき交通の姿を展望した「滋賀交通ビジョン」を踏まえ、人口減少社会において地域の活力を維持、強化するため、将来にわたって持続可能な本県の公共交通のあり方について、公共交通推進条例のあり方も含め検討を行う。

1 現状と課題

(1) 人口減少の進行

142.0万人 ⇒ 137.5万人
(2015年) (2030年)

※参考：国立社会保障・人口問題研究所推計

(2) 公共交通利用者の減少

- ・鉄道・・・約1/2に減少
- ・バス・・・約1/4に減少

※1975年と2009年との比較(交通分担率)

(3) 交通空白地域の現状

- ・1km圏内人口カバー率 99.7%
- ・300m圏内人口カバー率 75.5%

※鉄道・バスの人口カバー率 2000年

2 「あり方検討」の進め方

人口減少を見据えた公共交通のあり方検討協議会の設置（会長：立命館大学 塚口教授）

【委員：学識経験者、経済団体、福祉団体、県民活動団体、交通事業者、行政（国、県、市町）18名】

- ◎ 人口減少が本県の公共交通に与える影響調査（委託業務によりデータ分析）
- ◎ 議論（3つのテーマ）

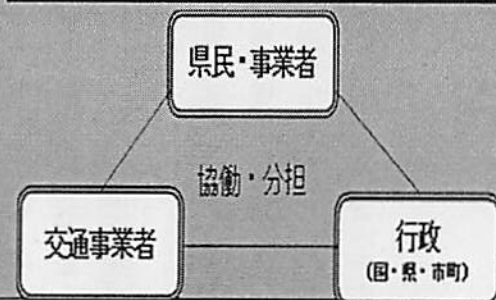
① 公共交通の維持および利用促進

- 人口減少社会における公共交通の役割
- 公共交通として交通事業者が果たす役割
- 交通事業者への支援のあり方
- 公共交通機関の利用促進策
- エコ通勤・通学の推進
- 公共交通に対する県民の意識の変革

② 県民の移動手段の維持確保

- 高齢者等移動制約者に係る生活交通の確保
- 交通空白地および交通不便地への対応
- 輸送需要に応じた交通手段の確保
- 多様な担い手による交通手段の確保
- バリアフリーおよびユニバーサルデザイン化の促進

③ 各主体の役割



3 スケジュール(平成28年度)

第1回検討協議会(H28.6.24開催)

- ・協議会の開催(4回程度)
- ・委託調査(現状把握、推計予測等)
- ・先進事例調査、ヒアリング等

とりまとめ
(平成29年3月)

全国の公共交通関係条例

1. 都道府県関係

● 奈良県公共交通条例（H25.7 制定）

◇目的

現在あるべき及び将来に目指すべき公共交通のあり方についての基本理念を定め、並びに県の責務並びに市町村との連携並びに公共交通事業者等及び県民の役割を明らかにするとともに、公共交通に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって公共交通により円滑な移動を享受できる持続可能な地域社会の実現に寄与することを目的とする。

◇県の責務

- ・ 公共交通に関する施策を総合的かつ計画的に策定し、及び実施する。
- ・ 県内における公共交通の広域的なネットワークを確保するとともに、市町村が実施する施策又は公共交通事業者等が実施する業務について、必要な助言その他の支援を行う。
- ・ 市町村、公共交通事業者等及び県民と相互に連携し、協力を得るよう努める。

◇県民および公共交通事業者等の役割、市町村との連携

- ・ 県民および公共交通事業者等は県又は市町村が実施する公共交通に関する施策に協力するよう努めるものとする。

◇公共交通基本計画の策定

- ・ 知事は「公共交通に関する施策についての基本的な方針」、「公共交通に関し、県が総合的かつ計画的に講ずべき施策」を掲げる公共交通基本計画を定めるものとする。

2. 市町村関係

● 金沢市における公共交通の利用の促進に関する条例（H19.3 制定）

(主な目的) 市、市民、事業者等が一体となって公共交通の利用を総合的に促進し、良好な都市環境の形成に寄与する

● 新潟市公共交通及び自転車で移動しやすく快適に歩けるまちづくり条例(H24.7 制定)

(主な目的) 自動車の過度な利用からの転換を図り、市民が健康で暮らしやすい社会の実現に寄与する。

● 岐阜市みんなで創り守り育てる地域公共交通条例(H27.11 制定)

(主な目的) 市の責務並びに市民、事業者及び公共交通事業者の役割を明らかにすることにより、本市の持続可能な地域公共交通の実現を図る。

● 長岡京市公共交通に関する条例（H25.12 制定）

(主な目的) 車中心のまちづくりから公共交通中心のまちづくりへの転換を図り、誰もが移動しやすい良好な都市環境の形成に寄与する。

● 高松市公共交通利用促進条例（H25.9 制定）

(主な目的) 公共交通の利用を総合的に促進し、もって快適で人と環境にやさしい都市交通の形成に寄与する。

● 公共交通空白地等及び移動制約者に係る生活交通の確保に関する条例(福岡市)（H22.3 制定）

(主な目的) すべての市民に健康で文化的な最低限度の生活を営むために必要な移動を保障し、もって活力ある地域社会の再生を目指す

● 熊本市公共交通基本条例（H25.3 制定）

(主な目的) 公共交通の維持及び充実を図るための施策を総合的かつ計画的に推進し、もって公共交通により円滑に移動することが可能な地域社会の実現に寄与する。

3 大津湖南エリアにおける地域公共交通活性化



大津湖南地域は 京阪神への通勤・通学圏として、開発が進み人口が集積したD I D区域が拡大

* DID=Densely Inhabited District 人口集中地区

特に、瀬田駅・南草津駅から「びわこ文化都市公園」を取り囲むエリアは、企業や大学・研究機関、病院、図書館や美術館等の施設や住居地区が集積する地域

人口減少局面において、地域の活力を減退させないためには、持続可能な公共交通網の整備が必要。

○拡大したD I D区域と集積した人口の維持・地域の活性化が必要

～持続可能な社会を目指して～

地域公共交通網形成計画の策定による、歩いて暮らせるまちづくりの実現へ

交通事業者・地元市・関係団体等と連携して「大津湖南エリア地域公共交通活性化協議会」を設置して検討

【策定期間】H28～H29

【目的】

歩いて暮らせるまちづくりの実現・BRTの導入促進

公共交通サービスの改善・新交通システム導入検討

【具体的施策案】

- BRTの徹底活用(BRT導入ルート of 拡大・BRT次期導入計画検討)
- バスネットワーク再構築・バスロケ等バス利用環境改善実施計画の検討
- 新交通システム導入における課題と実現可能性の検討
- UTMS(新交通管理システム)を活用した道路交通管制の充実化検討



～課題の解決を目指して～

大学と連携した調査研究 (立命館大学、龍谷大学)

- ✓LRT等の新交通システム検討
- ✓公共交通活性化策等、モビリティ・マネジメントの実施

